

Getinge グローバルポリシー

サステナビリティ方針

ドキュメントオーナー アンナ・ロンバーグ
バージョン v2
取締役会にて採択される 2023 年 4 月 26 日

1. 概要

ゲティンゲは、グローバル社会、環境、地域社会、そして私たちが共に働くすべての人々に対して、その役割に責任を負っています。

私たちは、長期的な収益性と経済的繁栄を目指すゲティンゲの戦略に沿って、バリューチェーン全体で社会的、倫理的、環境的に健全なビジネスの運営に努めています。また、サステナビリティの課題は、お客様の課題や地域の市場ニーズに応えるための戦略として不可欠なものです。

私たちのサステナビリティプログラムは、環境と社会（「非財務」）の目標を組み込んでいます。活動は、コンプライアンスやレギュラトリー部門を含む、すべてのビジネス機能の従業員と連携して行っています。

2. 範囲と目的

本ポリシーは、ゲティンゲ社、その子会社および共同事業（以下、共同で「ゲティンゲ社」）のすべてに適用され、当社のすべての従業員、およびゲティンゲ社の敷地内またはゲティンゲ社の指示の下で働くコンサルタントや代理店職員（本ポリシーではすべて「従業員」と呼ぶ）に適用します。

このポリシーは、持続可能性に対するゲティンゲのコミットメントの概要を従業員に提供するものです。その目的は、ゲティンゲのあらゆるレベルの従業員が、当社の価値観、規則、期待に沿った行動をとれるように支援し、可能にすることです。私たちは、従業員一人ひとりがサステナビリティ方針を支持し、組織全体で定義され定着した取り組みを継続的に改善することを期待しています。私たちのサステナビリティ・プログラムは、ゲティンゲのサステナビリティ・アプローチの範囲を特定する3つの主要なフォーカスエリアがあります：

1. 製品に関連する仕様 - 環境製品データ、EcoDesign、材料、廃棄物処理などを含む。
2. 製造業に関連する環境フットプリント - バリューチェーンにおける CO2 排出量の削減や省エネルギープログラムを含む。
3. 社会的責任 - 社内の雇用者参加、ビジネス倫理、コンプライアンス、そして地域社会に貢献する社外企業や地域のプログラムなど。

3. プリンシプル

コミットメントと期待

ゲティンゲは、持続可能で健全な事業運営に努めています。また、サステナビリティは重要な競争力であり、グローバルな環境で成功を収めるためにますます重要になってきていることを認識しています。ゲティンゲの本社はヨーテボリにあるため、年次報告書で非財務情報を開示するための法律や法的要件に従って、環境および社会的パフォーマンスと目標との対比を含めて開示しています。

持続可能な製品市場の提供に貢献する Getinge の能力は、顧客、金融機関、従業員から求められています。私たちは、品質に妥協することなく、組織のあらゆるレベルで Sustainability を推奨しています。

ゲティンゲ・サステナビリティ・アプローチ

Three main focus areas define our Sustainability Program:

Product Specifics	Environmental Footprint	Corporate Social Responsibility
<ul style="list-style-type: none"> Product innovation and product environmental data EcoDesign principles for products and packaging Hazardous materials & waste 	<ul style="list-style-type: none"> CO2 emissions (along value chain: production, transport, travel, facilities) Energy resources and consumption (production, logistics, vehicles, facilities, travel) 	<ul style="list-style-type: none"> Employer engagement, sustainable workplace Business ethics and compliance Corporate and local engagement

Page 74

GETINGE

環境に対する責任

環境責任は、Getinge の環境方針に定義されており、以下のように要約されています：

- すべての活動において、環境に配慮する；
- 最低限必要な条件を定めた環境法令；
- 持続可能な発展に貢献する従業員の個人的責任
- パフォーマンスに関する情報を提供するために、環境報告システムを導入している；
- は、ISO14001 の規格に適合したマネジメントシステムを導入し、認証しています；

- Getinge の新規事業は、買収または設立後 2 年以内に認証された管理システムを導入する必要があります。

環境コンプライアンスに関する当社の製品に関する責任は、以下の通りです：

- エコデザイン SOP

さらに、私たちは、例えばゲティンゲの中で定義された環境目標をサポートする多くの分野を定義しています：

- 旅費・経費指令書
- グローバルカンパニー・ビークル・ディレクティブ

ゲティンゲは、BA と GS の具体的な機能目標に支えられた、一連の総合的な環境目標を策定しました。目標は、2018 年度に実施した「マテリアリティ・アセスメント」に基づき、「サステナビリティ・プログラム」に詳細を記載し、隔年または必要に応じて見直す予定です。

4. ポリシーに反する行為 - 声明を出す

遠慮せずに悩みを打ち明けてください。本ポリシーの違反が疑われるゲティンゲ社の社員は、ラインマネージャー、人事部、倫理・コンプライアンスオフィス、またはゲティンゲ・スピークアップ・ラインに問題を報告し、提起することが期待されます。スピークアップ・ラインは、Getinge の社内外のウェブページで利用できます。

ゲティンゲでは、声を上げ、懸念や意見を表明した人に対する報復は、いかなる形でも認めません。

さらに見るスピークアップと報復禁止命令

5. 役割と責任

ゲティンゲの全社員は、本ポリシーを読み、理解し、遵守する責任を個別に負っています。各従業員は、この方針とゲティンゲ行動規範に示された持続可能な価値観に沿って行動する責任があります。

各ラインマネージャーは、サステナビリティプログラムの推進に責任を持ち、関連するガバナンスが整備されています。同様に、各ゲティンゲの事業部門/地域/エリアは、当社のサステナビリティ・アプローチとサステナビリティ・プログラムの関連 KPI を推進する活動の優先順位付けに責任を負っています。

本ポリシーに違反した場合、解雇を含む懲戒処分を受ける可能性があります。

6. フレームワーク

このポリシーは、ゲティンゲのガバナンスフレームワークの一部であり、以下のようなものがあります：

- 行動規範、戦略的枠組み、取締役会が承認した方針、CEO または CEO の直属の部下が承認した指令、および現地での指示。
- CEO が承認した「権限の委譲」に基づき、CEO が行った決定、その他
- 倫理・コンプライアンス室は、本ポリシーの最新版を公開し、GetBasics 上で全従業員が利用できるようにする責任を負います。
- 本ポリシーは、隔年または必要に応じて見直されます。
- 本ポリシーの原語は英語です。

7. ガイダンスとアシスト

このポリシーについて質問がある場合、またはどのルールが適用されるか不明な場合は、最寄りの人事部までご連絡いただくか、DERAS-HR@Getinge.com までメールでお問い合わせください。

便利なリンク集です：

- 行動規範
- ピープルポリシー
- 環境方針
- 贈収賄・汚職防止方針
- 人権方針
- 労働権指令
- ダイバーシティ指令
- 寄付金に関する指令
- 旅行、会議、経費の指令
- グローバルカンパニー・ビークル・ディレクティブ